

ネットハウス栽培における 単為結果性ナス品種「あのみり」の収量

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

1 部門名

野菜 - ナス - 品種、作型・栽培型、品質・食味

2 担当者

木村善明・三好博子

3 要旨

夏秋ナスのネットハウス栽培では、交配用ミツバチをハウス内に放し、その訪花活動を停滞させないようミツバチを管理することが高品質、安定生産を図る上で重要である。こうした着果管理作業の省力化を目的として、単為結果性品種「あのみり」((独)農研機構 野菜茶業研究所育成)のネットハウス栽培への適性を検討した。

- (1) 「あのみり」は、ネットハウス内で栽培することにより、露地と比較して可販果率が向上し、また、ミツバチ放飼の有無に関わらず、可販果数及び可販果収量も増加する。この可販果数及び可販果収量は、普及品種「くろべえ」(ミツバチ放飼)と比べて、やや少ない～同程度である(表1)。
- (2) 「あのみり」は、ミツバチを放飼していないネットハウス内で栽培しても、受精不良果の発生は少ない。一方、露地栽培やミツバチを放飼したネットハウス内で栽培した場合と比べて、曲がり果の発生が増加する(図1)。
- (3) 「あのみり」は、ミツバチ等による着果管理作業を省略しても、ネットハウス内で一定の収量を得ることができる。さらにミツバチを放飼することにより、曲がり果発生を低減、可販果率のさらなる向上が期待できる。

表1 収量及び可販果率

品種	栽培方法	収量				可販果率 (%)
		収穫果数 (果/a)	収穫量 (kg/a)	可販果数 (果/a)	可販果収量 (kg/a)	
あのみり	露地	4880	424	2816	246	57.7
	ネットハウス	5856	515	3984	356	68.0
	ネットハウス + ミツバチ	5408	476	4352	383	80.5
くろべえ	露地	5456	451	2944	241	52.8
	ネットハウス	6320	490	2464	199	39.0
	ネットハウス + ミツバチ	6784	554	4992	404	73.6

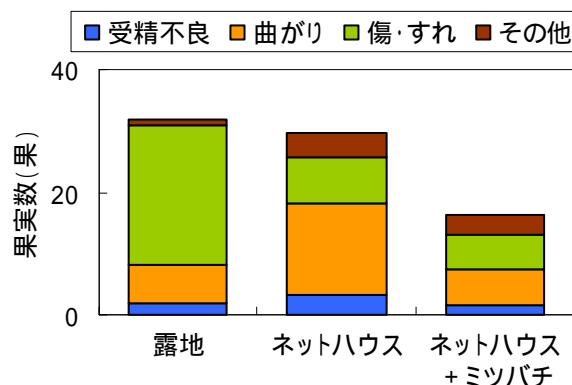


図1 「あのみり」の規格外果発生内訳

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2008)